第 79 号
2017年3月31日発行

利島村

議会だより

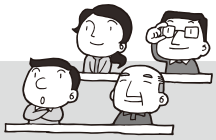
◆発行　利島村議会　〒100-0301　東京都利島村 248 番地　TEL 04992-9-0011　FAX 04992-9-0190

標台松線から望む伊豆大島

9月定例会

このようなことを審議しました ……2
平成27年度各会計決算　平成28年度補正予算 ほか
【行政報告】防災会議及び住民対話会等
９月定例会提出議案一覧
村政のここを聞く　一般質問 ……5
老人福祉について ほか
井口　保・寺田　優・村山　将人
議案に対する主な質疑 ……8

議会を傍聴しませんか？



第３回定例会
９月20～21日

平成28年第３回定例会が９月20～21日に開催され、平成27年度一般会計・特別会計の決算、平成28年度一般会計・特別会計の補正予算、条例の一部改正が上程されました。慎重に審議した結果、すべて認定・可決しました。

平成27年度 各会計決算 認定

平成27年度 一般会計・特別会計決算

会計名		歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計		11億4,109万6,014円	10億7,326万2,721円	6,783万3,293円
特別会計	国民健康保険事業（事業勘定）	1億0,669万7,494円	9,681万9,647円	987万7,847円
	国民健康保険事業（直診勘定）	7,275万2,940円	7,150万5,171円	124万7,769円
	簡易水道事業	5,586万8,827円	5,585万8,258円	1万0,569円
	合併処理浄化槽事業	2,350万5,392円	2,349万5,285円	1万0,107円
	介護保険事業（事業勘定）	3,841万8,379円	3,741万5,830円	100万2,549円
	介護保険事業（サービス勘定）	2,868万2,507円	2,868万2,507円	0円
	後期高齢者医療事業	706万3,546円	672万5,779円	33万7,767円
合計		14億7,408万5,099円	13億9,376万5,198円	8,031万9,901円

決算の概況

決算規模は前年度と比較し、歳入が2.3%、歳出が0.2%の増となりました。
歳入歳出それぞれの最大の増額要因は、島しょ漁業振興施設整備事業（漁協冷蔵庫整備＝歳入4,179万8,000円、歳出5,221万3,000円）です。

利島村の財政は 健全

監査報告

平成27年度各会計の数値及び執行状況について、帳簿、関係書類等を審査した結果、いずれの会計も適正であることを認めます。

また、財政健全化判断比率等についても、提出書類を審査した結果、いずれも健全な範囲内であることを確認しました。

健全化判断比率	比率	国の早期健全化基準
実質赤字比率	―	15.0%
連結実質赤字比率	―	20.0%
実質公債費比率	3.5%	25.0%
将来負担比率	―	350.0%

※比率が算定されない場合は、「―」（該当なし）と表記

平成28年度 補正予算

会計名	補正額	平成28年度	備考
一般会計（第３号）	899万0,000円増	12億9,812万2,000円	専決処分
簡易水道事業特別会計（第３号）	669万1,000円増	1億6,715万9,000円	専決処分
一般会計（第４号）	1億1,335万5,000円増	14億1,147万7,000円	
国民健康保険事業特別会計（事業勘定）（第１号）	1,168万8,000円増	1億0,371万1,000円	
国民健康保険事業特別会計（直診勘定）（第２号）	105万7,000円増	9,028万0,000円	
簡易水道事業特別会計（第４号）	31万2,000円増	1億6,747万1,000円	
合併処理浄化槽事業特別会計（第１号）	176万3,000円減	3,245万2,000円	
介護保険事業特別会計（事業勘定）（第１号）	100万1,000円増	3,982万7,000円	
後期高齢者医療事業特別会計（第１号）	10万0,000円減	666万2,000円	

行政報告

この報告は、平成28年第2回定例議会終了の日（平成28年6月17日）の翌日から平成28年第3回定例議会予定日（平成28年9月20日）の1週間前までの行政の重要な動きを概括的にまとめて、利島村議会に報告するものです。

鈴木総務課長

防災会議及び住民対話会

8月31日に平成28年度第1回防災会議を開催し、①「平成28年度東京都・大島町・利島村合同総合防災訓練」について、②「土砂災害防止法に基づく基礎調査結果」について議題としました。

①防災訓練については、訓練の概要案として、訓練目的・訓練想定・参加予定機関・訓練項目・今後のスケジュールなどについて説明を行いました。今回の訓練の特徴は、都の応援医療救護班と連携した医療救護活動訓練を実施することです。

②土砂災害防止法に基づく基礎調査は、東京都が土砂災害（崖崩れ・土石流・地滑り）から住民の生命を守るため、土砂災害警戒区域等の指定の前段として利島村全域において基礎調査を実施し、調査結果を公表したため、その内容について説明を行いました。

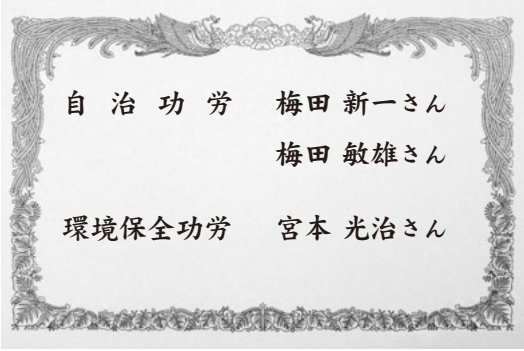
場外離着陸場拡張整備

昨年度ボーリング調査を実施し、地盤改良は必要ないとの結果となったため、今年度実施設計を行った後、自然公園法に基づく開発許可申請書を提出し、現在審査中です。

今後は、許可が下りたら速やかに入札を行い工事契約の締結をするとともに、3月末の竣工に向け、事務を円滑に進めていく予定です。

村民表彰

9月6日に表彰審査会を開催し、平成28年度は次の3名の方々が表彰者に決定しました。



小蔦住民課長

今後の高齢者福祉に関する検討状況

今後の利島村高齢者在宅サービスセンターの運営及びサービス提供の充実に向けた方策について、5月から毎月、社会福祉協議会と定期的な検討会を実施しています。

さまざまな運営形態の介護サービス事業所3ヵ所の視察を村と社会福祉協議会と合同で行い、具体的な運営体制やサービス提供の種類や規模などについて、ヒアリングを行ってきたところです。

今後は、平成29年度以降、通所事業等の介護保険サービスへの移行も視野に入れつつ、「利島村高齢化対策検討委員会」において、今後の方向性について協議検討していきます。

石野産業・環境課長

渇水対策

応急給水対策の実施や村民の節水への協力に加え、6月下旬から7月上旬にかけてのまとまった降雨により貯水量が大幅に回復したため、7月12日にプールに設置していた海水淡水化装置を撤去し、同日付で渇水対策本部を解散しました。

また東京都から財政・技術支援等をいただき、東京都町村会を通じて各町村からペットボトル飲料水の支援をいただき、住民等に週1回計5回配布を行うことができました。

今後は、脱塩施設の井戸ポンプの交換を早く進めるよう保守業者と調整し、予備ポンプを迅速に確保します。

また、平成30年度からの浄水場更新に向けた基本設計を進め、最適な施設更新のあり方について検討を進めていきます。

椿林病害虫対策

平成27年度に大発生したトビモンオオエダシャクにより、椿林が大きな被害を受け、東京都と連携して対策を進めてきました。本年度は、村民の協力により昨年の約2倍近い椿林に薬剤散布を実施した結果、幼虫の生息密度調査では、散布前に比べ散布後では生息密度は9割以上減少しま

した。

東京都では、「東京都エダシャク類防除対策会議」を開催し、来年度の防除対策等を検討する予定です。

村内美化推進検討委員会

9月3日に利島村内美化推進検討委員会を開催し、「利島村まち・ひと・しごと創生総合戦略」で掲げた「利島型観光の推進」における来島者数10％増の目標を達成するため、「推進ロードマップ」の骨子案について議題としました。

今後は、①広報戦略の充実、②観光人材の確保等、③ユニバーサルデザインの推進、④観光拠点づくり、⑤外部団体との連携強化について具体的な検討を行うため、数回委員会を開催し、年度内に答申をまとめる予定です。

カケンマ浜

7月11日の海開きから8月31日までの期間で、昨年同様に運用しました。台風等の影響で数回にわたり立入禁止の状態となりましたが、期間中は大きな事故もなく終了しました。今年は、神津島の砂を投入しましたが、海の水も澄んで好評でした。

村営住宅建設

設計の詳細図が完成し、自然保護条例の開発許可申請は本審査に入りました。許可が出るまで約2ヵ月を要し、11月初めになる見込みで、農地転用についても、都知事に進達中です。

浄化槽汚泥再生処理施設

平成27年度、島外への搬出を含む複数案について施設整備に係る費用分析を行ったところ、浄化槽汚泥再生処理施設を新設した上で、汚泥については可燃ごみ既設焼却施設で処理するという方式が最もコストが低いという結果が出ました。今後、基本計画の策定に向けた委託を行っていく予定です。

山口教育長

利島村教育大綱

8月25日、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4に基づき総合教育会議を開催し、『利島村教育大綱』を策定した。

〈基本理念〉

1. 子供たちの自立に向け、幅広い知識と教養と共に心豊かな人間性を育む教育
2. 郷土を愛し、人のため社会のために貢献できる人材の育成
3. 生涯を通じ、互いに学び合い、支え合い、高め合うことのできる教育支援の充実

教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（27年度分）

利島村教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（27年度分）を実施しました。今年度新たに指定した外部評価者2名により、昨年度の教育委員会評価、及び教育委員会、学校教育に関わる資料を基に教育委員会外部評価を行い、本報告書を作成しました。外部評価者は下記の2名に委嘱しました。

〈敬称略〉

帝京大学文学部心理学科助教　新谷　和代

多摩市青少年問題協議会落合地区委員会会長

多摩市立落合中学校教育連携コーディネーター

多摩市主任児童委員　榊　つきみ

行政報告に対する質疑

教育関連

■村山将人議員

問 **テニスコートのフェンスについて、施設整備の中で「テニスコートの修繕は考慮中である」とあるが、以前から「テニスコートのフェンスが腐って崩壊の危険がある」と議会でも指摘されている。どう考えているのか。**

答 **教育長**　安全に配慮して応急手当てを講じますが、学校にも子供たちの立入禁止をお願いしています。根本的な整備については、経費・予算のこともあるので、検討していきます。

■前田隆夫議員

問 **児童生徒の学力向上について、どのように考えているのか。**

答 **教育長**　学校の目指す大きなポイントの一つという認識で、小中一貫教育を進めています。例えば小学校の授業に中学校の教員が入るなど、専門性を生かしながら学力の向上を図っていますが、一番大事なのは子供がどんな気持ちで学習しているかで、学習意欲を

大事にしたいと考えています。子供が受けられる英語検定や漢字検定などの各種検定について、かつては合格のために教員が補習を組むなど自由でしたが、現在は村が2回分の試験代を負担することで、子供や保護者も気運が高まっていると認識しています。

防災関連

■前田隆夫議員

問 土砂災害防止法に基づき基礎調査結果の報告を受けたが、今後避難先を変える予定があるのか。

答 総務課長 土砂災害防止法の基礎調査で、イエローゾーン、レッドゾーンが村内にも数ヵ所発生しています。避難所等も一部区域がかかるところもありますが、土地の関係もあり、ほかに避難場所を新たにつくることはなかなか難しいのが現状です。安全性の確保が一番優先されるため、今後検討していきます。

■前田隆夫議員

問 体育館、診療所等など電気が供給できなくなったときに、自家発電機器を設置したほうがいいのではないか。

答 住民課長 現在検討しています。診療所は、補助金の関係を都に相談しており、使える補助金があるかどうか検討しているところです。

答 教育長 体育館については、今後検討していきます。

場外離着陸場

■前田隆夫議員

問 拡張整備について、土地の相続はいつ終わるのか。土地使用ができないのではないか。

答 総務課長 現在相続の手続をしています。終わり次第速やかに売買契約を行っていきます。今後は承諾書が届き次第、東京都へ許可申請を行い、許可がおりれば工事の着手に入れるという認識です。

椿害虫関連

■前田隆夫議員

問 BT剤を散布する際の人件費について、東京都に支援してもらうことはできないのか。

答 産業・環境課長 人件費は東京都に検討してもらっています。負担を認めてもらった場合、管理について委託でも問題ないと考えています。また今後の東京都のエダシャク防除会議の中で方針が決まると考えています。

9月定例会 提出議案一覧

■専決処分
- 平成28年度一般会計補正予算（第3号）
- 平成28年度簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

■平成27年度各会計決算認定

■平成28年度補正予算
- 一般会計（第4号）
- 国民健康保険事業特別会計（事業勘定）（第1号）
- 国民健康保険事業特別会計（直診勘定）（第2号）
- 簡易水道事業特別会計（第4号）
- 合併浄化槽事業特別会計（第1号）
- 介護保険事業特別会計（事業勘定）（第1号）
- 後期高齢者医療事業特別会計（第1号）

■報告
- 株式会社TOSHIMA平成28年度事業計画並びに平成27年度事業にかかる決算報告について

すべて、認定・可決

一般質問

井口 保議員

老人福祉

問 社会福祉協議会に対してデイホーム事業の委託をしているが、村民の中から通所及び昼食に対しての不満が聞こえている。村はどう考えているのか。また敬老祝賀会の案内文書について、住民から不満の声があった。この文書に対しての説明を願う。

答 住民課長 高齢者在宅サービスセンターの利用に当たっては、本人のお体の様子、生活動作、緊急連絡時の連絡先などを確認させていただいています。しかし手続の見直し等については、混乱が生じたこともあり、該当者に謝罪するとともに、社協だよりの掲載や掲示で周知を行いました。今後も、ご本人に寄り添う対応ができるように努力していきます。

敬老祝賀会の文書について、確かに配慮に欠けている部分があったと認識しており、次回から気をつけたい。また今年度から欠席者にお弁当等を配布しないことの理由は、①食中毒などのリスクもあること、②対象者の方には祝賀会へご参加いただき、直接お祝いをさせていただきたいと考えているということです。なお、お祝い金は、欠席の方も含めて配布しています。

ヘリポート拡張整備

問 28年度末には完成が見込まれるのか。

答 総務課長 今年度実施設計を行った後に、8月末に自然公園法に基づく開発許可申請を提出し、現在審査中です。

今後は、許可がおり次第速やかに入札を行い、10月を目途に工事契約を締結し、3月末の竣工に向けて事務を円滑に進めていきたい。

汚泥処理再生施設

問　村長から島外搬出か村内施設の検討をしているとの説明を議会としては聞いているが、村内に建設することに至った理由は。

答　**産業・環境課長**　複数案の中で、平成29年度から平成48年度までの20年間のコストを検討した結果、島内に処理施設を建設して、そういう汚泥のものを余燃材として焼却施設で処分する案は、コストが低いということで選定しました。平成29年、30年度の2ヵ年で建設をして、31年度からの供用の予定となっています。

寺田　優議員

村課題の優先準備

問　村長は就任当初から多くの課題に積極的に取り組んできたが、当初の期待が大きかったために、なかなか進まないことに不満の声が聞こえてくる。優先順位をつけているとは思うが、来年度は数ある課題の中から何を計画しているのか。

答　**村長**　今計画しているさまざまな事業に対しても財政問題を含めて考えています。補助金の確保や細かい無駄遣いの排除なども当然やっていきます。①教育・子育てについては既にさまざまな支援・補助制度を行っていますが、優先課題ということで、できるだけ力を入れます。②利島特有の定期航路の問題ですが、（株）ＴＯＳＨＩＭＡの体制についてはまだ盤石とは言えないため、体制が築けるまでフォローしていく必要があると認識しています。③インフラ関係の維持拡充についても、道路・水道等の更新、ヘリポートの拡充整備、汚泥関係の概念設計、詳細設計等も来年度実施されます。④ブロードバンドの30年度の設置に向けて、今年・来年に詳細設計等があるので、調査設計などを着実に進める必要があると認識しています。④太陽光については、東京電力の急激な状況の方針の変更等もあり、二の足を踏んでいる状況ではありますが、引き続き設置の方向で検討していきたい。⑤高齢者の介護サービスの需要等については、高齢者対策検討委員会で引き続き検討していきます。⑥観光について利島の中で具体的に検討されてきませんでしたが、委員会を立ち上げ、本年度にロードマップをつくって計画的に進めていく中で、来年度も引き続き取り組んでいくことを考えています。

村内光ファイバー網

問　現在の固定電話網はどうなるのか。また光ファイバーに接続すれば利用料金が発生すると思うが、接続しないという選択肢はあるのか。

答　**総務課長**　光ファイバー網の整備の活用方法については、今年度アンケート調査を実施し、村民の皆様の意見を伺い、今後の整備計画に反映しつつ、生活の利便性を高め、通信環境の改善を図っていきたいと考えています。固定電話網については個人の判断にはなりますが、一応残ることになります。光ファイバーの接続について、ＮＴＴ東日本のフレッツ光に加入については、各電話加入者が選択可能となっています。電波障害の関係については、光ファイバーの利用で改善は図れると考えています。

ネズミの対策

問　椿林にネズミが大発生している。早急に支庁に調査をお願いできないのか。加えて駆除対策を検討すべきと思うがどうか。

答　**産業・環境課長**　発生している被害状況について村で把握ができていないため、まずは被害状況、実態の把握を進めた上で対応を考えたい。現在、大発生している状況で、例えば椿林が半分ぐらい食べられるという状況であればかなりの被害になるので、生産者にも調査協力をお願いすることになると考えています。

老人福祉対策の具体的実施計画

問　長寿社会が進む中、認知症などの手厚い介護を必要とする老人が増えていくのは容易に想像がつくが介護度が上がってきた場合、家族だけで介護するには限界がある中、村長はどのように対応するのか。

答　**村長**　高齢者対策検討委員会で事務局・社協・役場も含めて一生懸命行っていますが、そこで検討した内容、今後村の進める案についての最終案というべき答申を今年度中に出してもらう状況にあります。社協とも月1回ぐらいのペースで打ち合せをし、利島に似たようなところの施設の見学も行い、それも参考にして検討しています。今後は、できるだけ住民に向けた情報発信を行いたい。

一般質問 ここが聞きたい！

村山 将人議員

簡易水道施設設備の故障

問 **5月に設備故障と渇水に伴う給水問題があったが、今後同じ事態が二度と起こらないために、さらに一歩踏み込んだ対策を講じることが必要であると考える。改めて今後に向けて村側の考えを伺う。**

答 **産業・環境課長** 現在貯水量は、1万トン以上ありますが、この間の雨も大分降って、ほぼ満水に近く、使用量が1日150トンの計算でいけば、2ヵ月強ある計算になります。現状は問題ありません。また近いうちに脱塩装置の井戸ポンプの交換が行われる予定になっています。

水道施設については、今年度中に更新に向けた基本計画を策定して、その中で急速ろ過の施設の処理能力が現状のものの150トンから200トンまで上げる予定となっています。29年度に実施設計を策定、30年度以降に整備工事を行っていく予定です。また水道管の管路更新を今年と来年で行う予定となっています。

11月に行われる大規模な防災訓練

問 **住民への周知をしっかりして、より内容のある訓練にしてもらいたい。また、東京都による土砂災害警戒区域等の基礎調査が行われホームページにて公開されたが、村内のさまざまな施設が警戒区域、特別警戒区域に指定予定となっている。今後、地震や豪雨災害に対してどのようなビジョンを持っているのか伺う。**

答 **総務課長** 今回の東京都・大島町・利島村合同総合防災訓練は、村民の防災意識の向上や関係機関との連携強化を図る上で重要な機会になると考えています。各自の当日の行動について事前の情報伝達をしっかり確認し、予定されている住民対話会でも訓練の説明を行い、当日の訓練がより一層実りのある訓練になるようにやっていきたい。

また、東京都が公表した土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の基礎調査については、調査結果を迅速に住民に知らせることが法の趣旨で公表されています。利島村では避難所でも一部イエローゾーン、レッドゾーンにかかるようなところも出てきていますが、この狭い地域の中で避難所を、新たな場所に移すといってもなかなか場所はないため、今後どのように対応していくかは現在検討中です。

村の事業に関して

問 **今年度の大きな事業として、村営住宅建設、ヘリポート拡張整備などが挙げられる。住宅の必要性は島の発展のためにも必要で、ヘリポートの拡張は防災対策の意味でも重要である。しかし、そのどれもが滞り、今年度中の完成に不安が募っている。3月完成に向けてのスケジュールを伺う。**

答 **産業・環境課長** 村営住宅建設について、10月初めに入札をし、材料発注をする予定です。木材なのでプレ加工を行い、基礎工事を実施し、その後1月から2月でハウスの組み立てを行います。組み立てたところから電気や内装を行い、一応3月末を完成に持っていきたいと考えています。

情報発信に関して

問 **議会のたびに再三申し述べているが、利島村ホームページの更新が滞っている。必要性に関しても何度も申し上げており、外部発注も含めて検討するべきと考えるが、どう考えているのか。**

答 **総務課長** ホームページの更新について、今年度はホームページのお知らせ欄において随時更新を行っています。4月には椿林の病害虫対策のプレス発表や、5月には次世代育成支援法及び女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画の公開、また6月の渇水時には村民への節水のご協力のお願いやペットボトル飲料水の配布予定など随時掲載しました。今後もホームページの充実を図るため、村の計画や方針など村内情報の積極的発信に取り組んでいきたいと考えています。

また外部発注の件については、コストの問題もあり現在は考えていません。

一般質問項目一覧

井口 保議員
- ▼老人福祉について
- ▼ヘリポート拡張整備について
- ▼汚泥再生処理施設について

寺田 優議員
- ▼村課題の優先順位について
- ▼村内光ファイバー網について
- ▼ネズミの対策について
- ▼老人福祉対策の具体的実施計画について

村山 将人議員
- ▼簡易水道施設設備の故障に関して
- ▼防災に関して
- ▼村の事業に関して
- ▼情報発信に関して

…活力ある住みよい島を目指して…

議案に対する主な質疑

議案第37号　専決処分
平成28年度　一般会計補正予算（第3号）
平成28年度　簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

■前田隆夫議員

問 渇水対策における支援に関する負担金の内容について詳しく説明を願う。また今回の渇水対策費用の概算はどれくらいか。

答 産業・環境課長　この負担金は、渇水時に都の水道局から技術者派遣を受けているもので、その派遣に伴う費用を村で負担するための予算です。渇水対策費用の概算については、ポンプの更新・工事等を含めて1723万6800円のうちの75％が補助の対象になると聞いています。その他でかかった費用については、総合交付金での話がありますが、まだ数字が出ていません。

議案第38号　平成27年度各会計決算認定

■前田隆夫議員

問 さまざまな課目で多額の不用額が出ていることについて伺う。

答 総務課長　今回の処理の件について、決算の見込みがうまくいきませんでした。今までは最終補正を6月に専決処分という形で行っていましたが、今年度は、3月補正のみで最終専決を行わなかったため、結果的には共済費の負担金等が、3月の時点で精査した額まで減額できていなかったため、結果的に不用額という形に残ってしまいました。

議案第39号　平成28年度一般会計補正予算（第4号）

■前田隆夫議員

問 庁舎建設基金積立金について、剰余金が出た場合には庁舎の建設基金積み立てにすると理解しているが、工事費は幾らぐらいで、何年の建てかえを目指しているのか。また庁舎建設で起債等の許可を受けることはできるのか。

答 総務課長　庁舎建設については、補助金に該当するものがないため、ある程度長期的な展望で、将来的に庁舎を建設するためには基金を設立して、毎年歳計剰余金の2分の1相当額を積み立てていくという計画になっています。しかし現在村の中で普通建設事業が立て込んでおり、財政的な平準化も求められているところで、庁舎建設は平成40年以降でないと難しいという認識です。

■寺田優議員

問 し尿処理の処理センターの基本計画策定業務について、来年着工に向け進むということなのか。また環境アセス等は以前はやっていたと思うが、今回必要ないのか。建設用低地近くに住む住民の理解を得る必要はないのか。施設が稼働する際の人員は、どのように考えているか。

答 産業・環境課長　場所については、以前からつくる予定になっていたところで、住民に説明会で説明を行いたいと考えています。環境アセスについては、新たにアセスをやる必要はないと聞いています。人員については、汚泥関係の免許を持っている職員がいますが、焼却場と同様に委託業務で考えています。

議案第44号　平成28年度介護保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）

■井口保議員

問 利島には現在ケアマネージャーがいないが、介護認定の申請が出たときに、大島の業者に委託しているのか、それとも職員に資格を取ってもらうのか、どのように考えているのか。

答 住民課長　介護認定の対応については、大島の社会福祉協議会、または大島のほかの事業所のケアマネージャー、それと島外、埼玉、千葉等々、都内の施設に関するケアマネージャーにプラン等を立ててもらっています。利島については、今社会福祉協議会の職員へのケアマネージャー取得に対する受験する資格を得るようにお話をしているところで、来年度の採用に向けて検討しています。

議会出席者

◆　行　政　◆

前田　福夫（村長）
田中　誠人（副村長）
山口　順一（教育長）
鈴木　広一（総務課長）
小蔦　広美（住民課長）
石野　　誠（産業・環境課長）
入　　恵子（会計管理者）
藤井　桂三（会計監査委員長）

◆　議　会　◆

前田　　薫（議長）
寺田　　優（副議長）
井口　　保
前田　隆夫
前田　隆司
村山　将人

◆　議会事務局　◆

西川　　歩（書記）